

2008年5月20日

報道関係各位

東京急行電鉄株式会社

回送車両通過中の踏切遮断桿上昇について

東京急行電鉄（本社：東京都渋谷区、社長：越村敏昭）では、本日（5月20日）、東横線・目黒線武蔵小杉駅から元住吉車庫への引き込み線に設置されている踏切において、回送車両が踏切を通過し終える前に、遮断桿が上昇するという事象が発生いたしましたので、下記のとおりお知らせします。

お客さま、近隣にお住まいの皆さまをはじめ、関係各位にはご心配、ご迷惑をおかけし、深くお詫び申し上げます。

記

1. 発生日時 2008年5月20日（火）8時53分ごろ～9時14分ごろ
2. 発生場所 武蔵小杉1号踏切（武蔵小杉駅～元住吉車庫間・幅員6.7m）
所在地：川崎市中原区木月住吉町1-1
3. 状 況 8時53分ごろから9時14分ごろにかけて、武蔵小杉駅から元住吉車庫に入庫する回送車両が武蔵小杉1号踏切を通過中、車両の最後尾が踏切を通過し終える前に、遮断桿が上昇し、警報機が鳴り止むという事象が4件発生しました。歩行者および自動車との接触などの被害はありませんでした。なお、それ以降、同様の事象は発生していません。
4. 原 因 該当踏切は、車庫へ出入りする車両のみが通過する踏切ですが、昨夜からの大雨により、入庫専用のレールに錆が発生したために、最後尾車両が踏切を通過し終えていないことを検知できなかったのではないかと推定されます。詳細は現在調査中です。
5. 対 応 同踏切に係員を配置し、踏切動作を監視しています。

以 上